



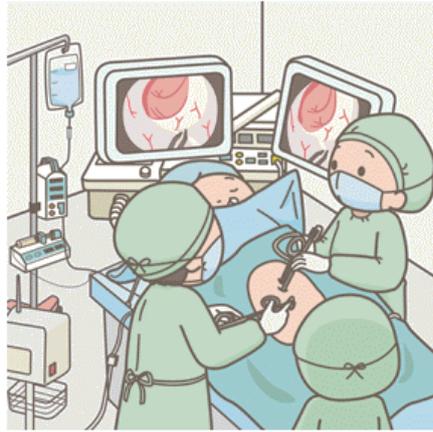
ほのか診察室

シリーズ 第143話

ふくくくいきいき
腹腔鏡の手術って何？

市民病院 手術室 監修

▽市民病院（代表）TEL 22・2171



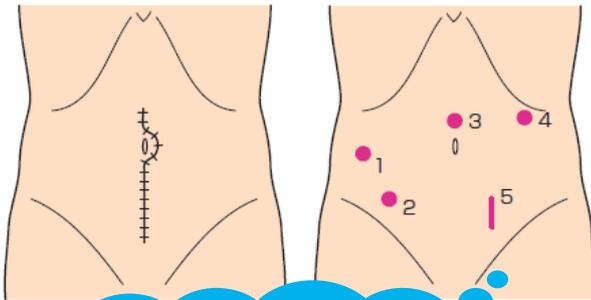
腹腔鏡手術とは、これまでのお腹を大きく切り開く手術（開腹手術）とはまったく異なった手術です。腹腔とは、胃や腸、肝臓などが納まっている「お腹の空間」です。そして鏡は「カメラ」を意味します。つまり腹腔鏡手術とは、「お腹の中の空間」に「カメラ」を入れて行う手術のことです。

具体的な方法は、お腹をほとんど切ることなく5〜12ミリメートルの穴を空け、トロッカーと呼ばれる筒

を数本挿入します。次にお腹を炭酸ガスで膨らませてから腹腔鏡（カメラ）を用いてお腹の中の様子をモニターテレビに映し出し、細長い手術道具をお腹の外から操作して手術を行います。

「手術はお腹を切り開くため、手術後の痛みも強くつらいものである」というイメージがありますが、腹腔鏡手術は、傷口が小さく、手術後の痛みも開腹手術に比べて軽いのが特徴です。この手術の最大の利点は、早期に歩行可能で、絶食期間も短いこと、入院期間の短縮や早期社会復帰が可能であることです。高齢の方も手術後の回復が非常に早い手術といわれています。しかし、病気の進行度や腫瘍の大きさ、患者さんの既往歴、全身やお腹の状態により、必ずしも腹腔鏡手術の適応とならない場合もありますので、医師とよく相談してください。

大腸がん手術後
開腹手術（左図）と腹腔鏡手術（右図）



- ・傷口が小さい
- ・痛みが少ない

●腹腔鏡手術の利点

- ・手術後の腸管運動の回復が早いので、早くから食事がとれる
- ・入院期間が短い
- ・早期社会復帰が可能
- ・手術後の癒着（臓器などがくっつくこと）が軽微

●腹腔鏡手術の欠点

- ・手術時間が延長する傾向がある
- ・既往によっては手術が不可能
- ・医師に高度な知識と技術・経験が必要
- ・肺の悪い人はできない場合があるなど

●当院の主な腹腔鏡手術の種類

- ・胃腫瘍（適応による）
- ・大腸がん（結腸がん・直腸がん・大腸疾患ほか）
- ・胆のう結石・胆管結石
- ・虫垂炎（適応による）

負担の少ない腹腔鏡手術を行うためにも、早期治療が大切です。定期的な健診を受けていただき、二次検査が必要になったときは、早めに医療機関を受診することをお勧めします。